

令和7年度宇都宮大学第3年次編入学試験問題

小論文

農学部 森林科学科

令和6年6月13日（木）実施

9時00分～10時00分

令和 7 年度宇都宮大学農学部第 3 年次編入学試験問題

宇都宮大学農学部

科目名： 小論文	学科名： 森林科学科
----------	------------

次の文章を読んで、以下の問いについて解答用紙に解答しなさい。

これまで、国内で生産された丸太は、素材生産業者（山で木を伐る伐採業者）から原木市売市場（丸太を売る市場）に出荷され、競りにかけられたのち製材品（原木を規格に合った寸法に切削加工して作られる木材のこと）、合単板（原木から厚さを薄く加工してできたものを単板、単板複数枚を接着させ、構成されたものを合板という）、木材チップ（木材を機械的に小片化したもので製紙パルプの原料などになる）の各種工場へ運ばれていくことが多かった。しかしながら、2000 年代頃から、これら工場へ原木市場を介さず、もしくは介しても競り売りなどは行われずに丸太が工場へ直接入ってくる傾向が強まっている。また同時期の国内のこれらの工場へ流入する丸太の変化は図 2～5 のとおりとなる。

注）製材、合単板、木材チップの説明については、『森林・林業・木材辞典』（1993 年、日本林業調査会）より出題者作成

問）図 1 から読み取れる特徴および図 2～5 に見られる傾向について記述しつつ、両者の関係について 400 字以内で述べなさい。

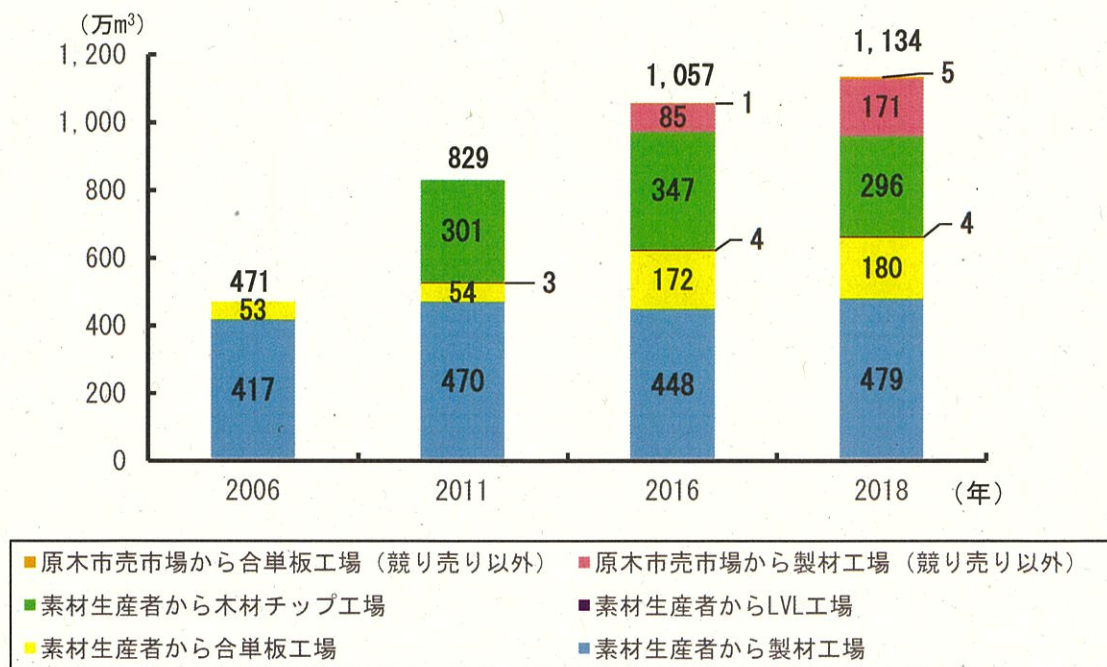


図1 製材，合板，木材チップ工場へ入荷する丸太の流通
出典：令和4年度森林・林業白書

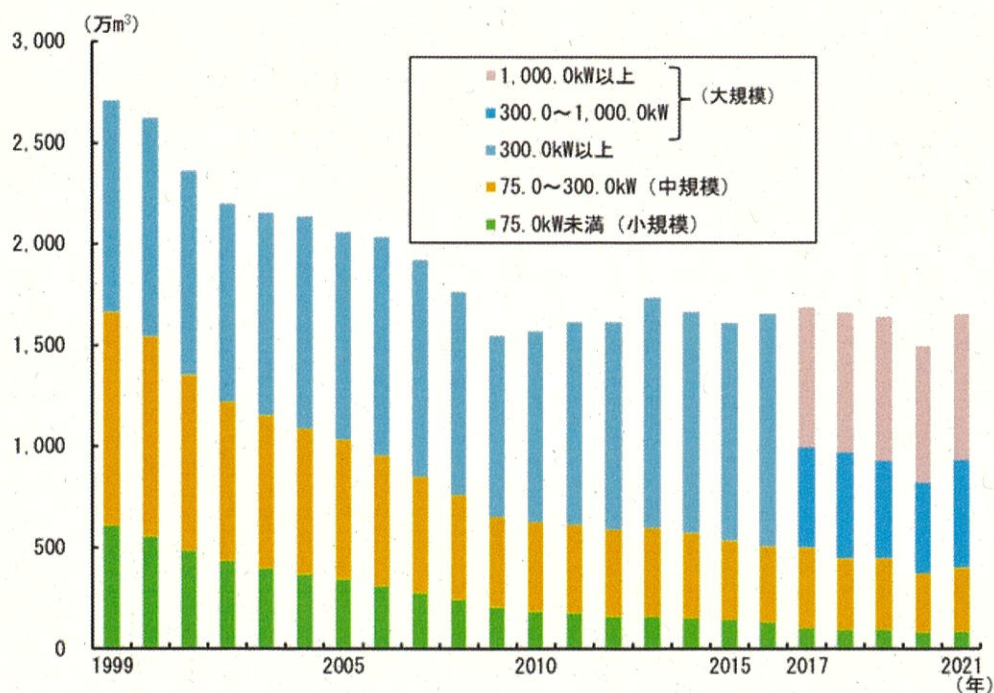


図2 製材工場の出力規模別原木消費量の推移
出典：令和4年度森林・林業白書

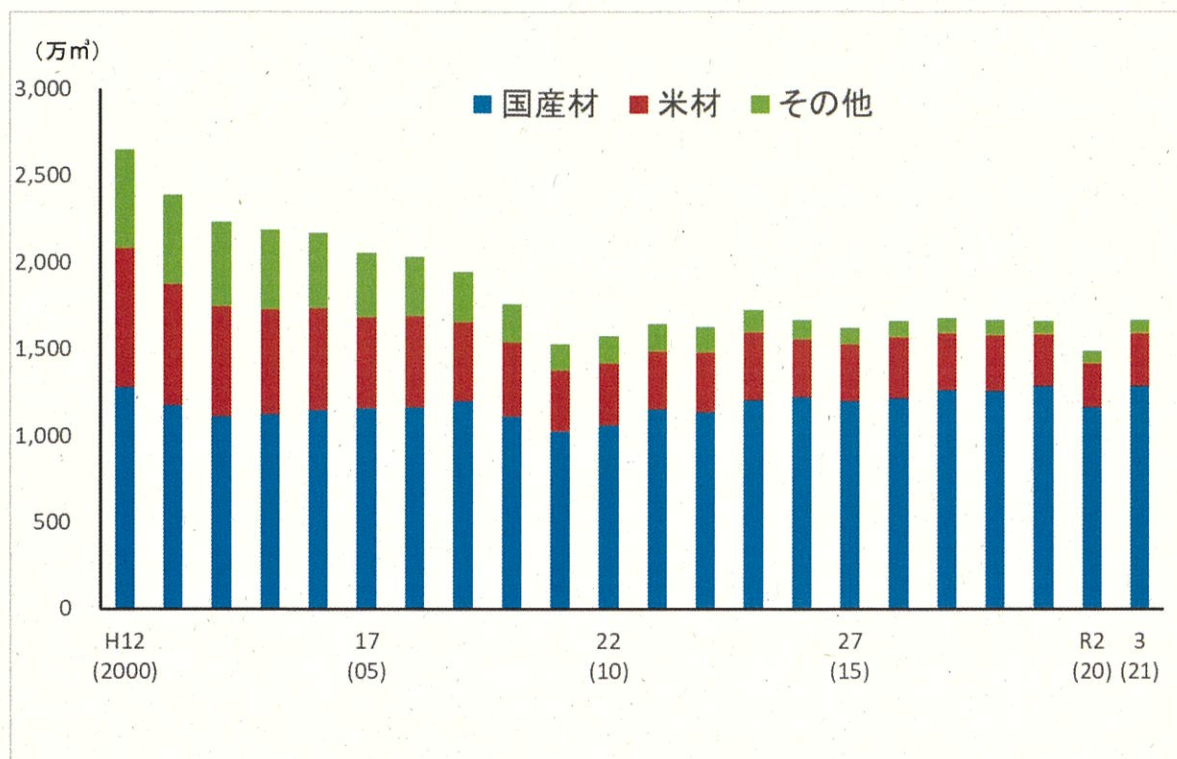


図3 国内の製材工場における原木入荷状況
出典：令和4年度森林・林業白書

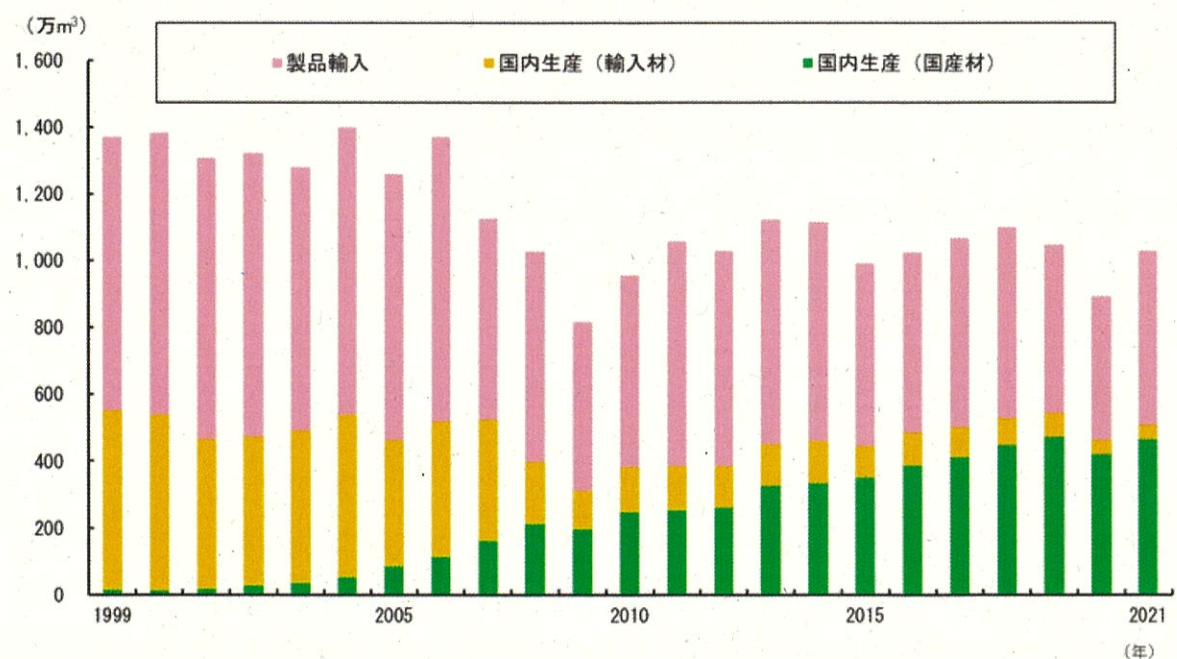


図4 合板用材の供給量の推移
出典：令和4年度森林・林業白書

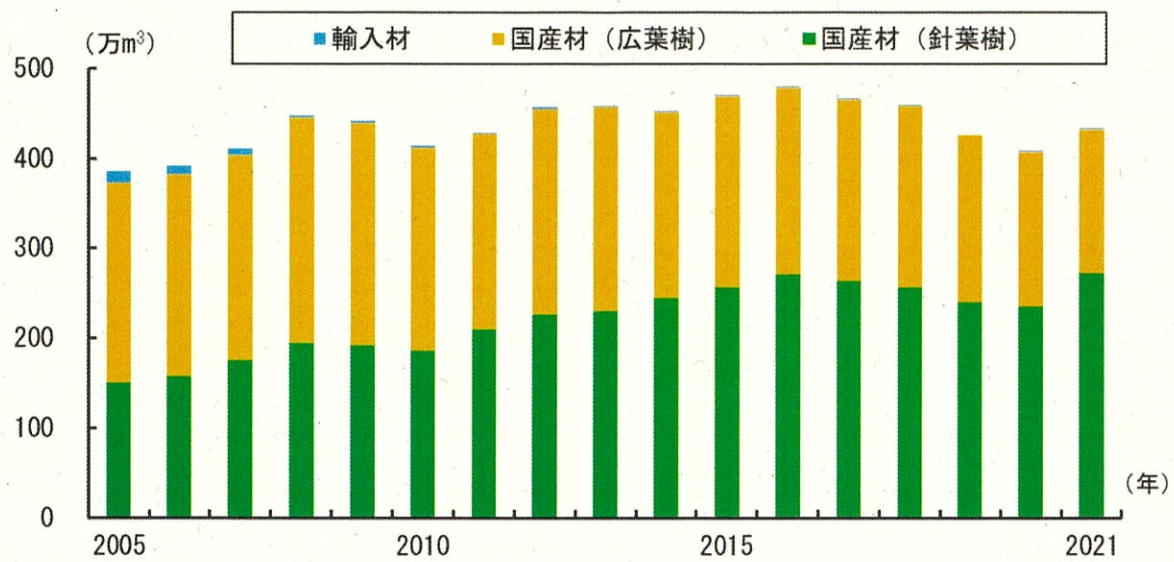


図5 木材チップ用原木入荷量の推移
出典：令和4年度森林・林業白書